

Topics 5

「科学のまちの子どもたち」ロボットフェスティバル

「子どもたちと若き研究者の出会いが新しい未来を創造する」をテーマに「科学のまちの子どもたち」ロボットフェスティバル(主催:京都山城ロータリークラブ)が2月22日(土)、けいはんなプラザで開催され、ロボットに関心をもつ親子らおよそ370人が参加しました。

フェスティバルを共催した「けいはんなジュニアロボットクラブ「ジュニロボ」」(会長:伊藤潤一氏)は、昨年から精華町を拠点に小・中学生を対象としたロボット工作教室を運営していて、学研都市のロボット研究者とロボット好きの子どもたち、ロボットの研究者や技術者を目指している子どもたちとの交流を目的に、今回の催しを企画しました。同志社大学、大阪大学、ATR知能ロボティクス研究所、NICTユニバーサルコミュニケーション研究所、アクティブリンク株式会社など学研都市の研究機関や企業から参加した研究者たちは、実際のロボットや映像を使って、それぞれが研究している最先端のロボット技術を子どもたちにわかりやすく紹介するとともに、「将来、ロボットの研究者を目指しているなら、算数や理科、それに英語などのふだんの勉強が大切」などのメッセージを子どもたちに送っていました。そして休憩時間に行われたデモでは、研究者とロボットの周りにたくさんの子どもたちが集まり、目を輝かせながら、研究者の解説に聞き入っていました。また「ロボットを学ぶ子どもたち」というプログラムでは、ロボカップ・ジュニア世界大会で毎年、好成績を収めている奈良高等工業専門学校5年の村田真奈美さんと「ジュニロボ」に在籍している精華町立山田荘小学校6年の川本稜生君が講演、ロボット競技会を目指す際の心構えや、ロボットを学ぶ面白さなどについて語りました。この日は村田真奈美さんや「ジュニロボ」の子どもたちによるデモも行われ、ロボットをめぐる子どもたちと研究者とのなごやかな交流がけいはんなプラザで展開されました。



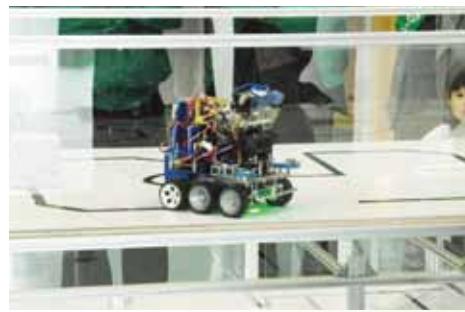
作業支援用パワードスーツと講演する中野基輝先生



「ジュニロボ」で学んだ事柄を講演する川本稜生君



ライントレースに挑戦する「ジュニロボ」の子どもたち



レスキューコートを走る村田真奈美さん(右)愛用のロボット



橋本雅文先生(同志社大学)



松下光次郎先生(大阪大学)



塩見昌裕先生(ATR)



杉浦孔明先生(NICT)



中野基輝先生(アクティブリンク(株))

